

日本国 首相官邸
内閣総理大臣 高市早苗 殿

お世話になっております。

添付「公職選挙法一部改正施策案」の提出させていただきます。

- (1) 第 92 条 「供託」に関わる 目的のための手段とした場合の矛盾点
- (2) 上記目的の直接的な解決策として

何卒、政府内にて前向きな議論を重ねていくことを期待いたします。

尚、郵便物についてはセキュリティ対策としての検閲等の作業につきましては承諾させていただきます。

令和 8 年 10 月 1 日

〒001-0011

北海道札幌市北区北 11 条西 3 丁目 2-23 ノースタウンハウス 222

連絡先：

高桑 広仁

日本国 首相官邸
内閣総理大臣 高市早苗 殿

公職選挙法一部改正 施策案について

* 目的に対する現状と矛盾点

現状の手段としてと既存の公職選挙法第 92 条 供託 に付き、無責任な立候補 及び 売名目的等の立候補に

かかる防止策として、当該条文の目的としている趣旨に付き、

供託するも上記目的による行為の防止としては、供託という候補者選別に於いて、

或る意味に於て、金銭による「民法の弁済供託」を引用しての意味合いとしても、

上記の不正とされる意思目的の立候補者を客観的に排除選別する手段とは等しいとは思われぬ地方公共団体長の立候補者についてあくまでも社会通念上見地から、妥当な立候補者選抜の結果とはなっておらずという世論的意見が多数存在していたのもまた事実である。

* 目的に対する明確な手段として

議員たる「意思・目標・資質を問う」それに準ずる相応水準に至っているか否かの選別とすべき

具体的には議員活動に向けた意思と目的、さらに議員に相応たる資質及び活動を行う上で
の一定基準の知識教養を備えている者

上記事項の判断材料としての「一定の提出物」の内容により判断すべき事柄とすべきである
上記候補者からの提出物の内容判断については「有識者による第三者機関によるもの」とした
明確な基準体制により、票を投じる選挙民が候補者判断をより簡潔に安心して投票する
環境を整備することが最優先の課題であるとするもの

尚 国会参議院議員選挙のみ 近代より多少なりとも、他と異なる固有の位置付けという
性質を含んでいる可能性も少なからず在するため、当該の改正適用範囲から除外する思慮
も有り得る可能性を秘めている。

以上

令和 8 年 10 月 1 日

〒001-0011

北海道札幌市北区北 11 条西 3 丁目 2-23 ノースタウンハウス 222

連絡先：

高桑 広仁